1.「構図の問題」の解決／賃貸物件撮影の基本の「き」

下の２枚の写真は、同じ部屋を撮影した写真です。
家具が置いてあること以外、一体何が違うのでしょうか？

▶

この後、基本の「き」を知るだけで、その違いがすべてわかり、
室内写真が上手く撮れるようになります！
そして、物件検索サイトに掲載できる約 20 枚前後の写真に、いかに
【多くの情報を盛り込み】、さらに「このお部屋を見てみたい！」と
【来場へつなげる写真】とするために、本題へとお話を進めて参ります。

基本の「き」　五か条

一、とにかくまずは広く撮るべし

二、目線はまっすぐ撮るべし

三、視点を下げて撮るべし

四、視線を通して撮るべし

五、何を伝えたいのか考えて撮るべし

（一）とにかくまずは広く撮るべし ★築 22 年アパートオーナーＫさん撮影

アドバイス前

▼

（一）とにかくまずは広く撮るべし

アドバイス後

・可能な限り下がって撮ることで、空間が広がりました！さらに、照明、キッチン、和室、間取りという情報がプラス！　★ Point ／写真の中にできるだけ情報を詰め込もう！

+Action!　20 ～ 30cm の差

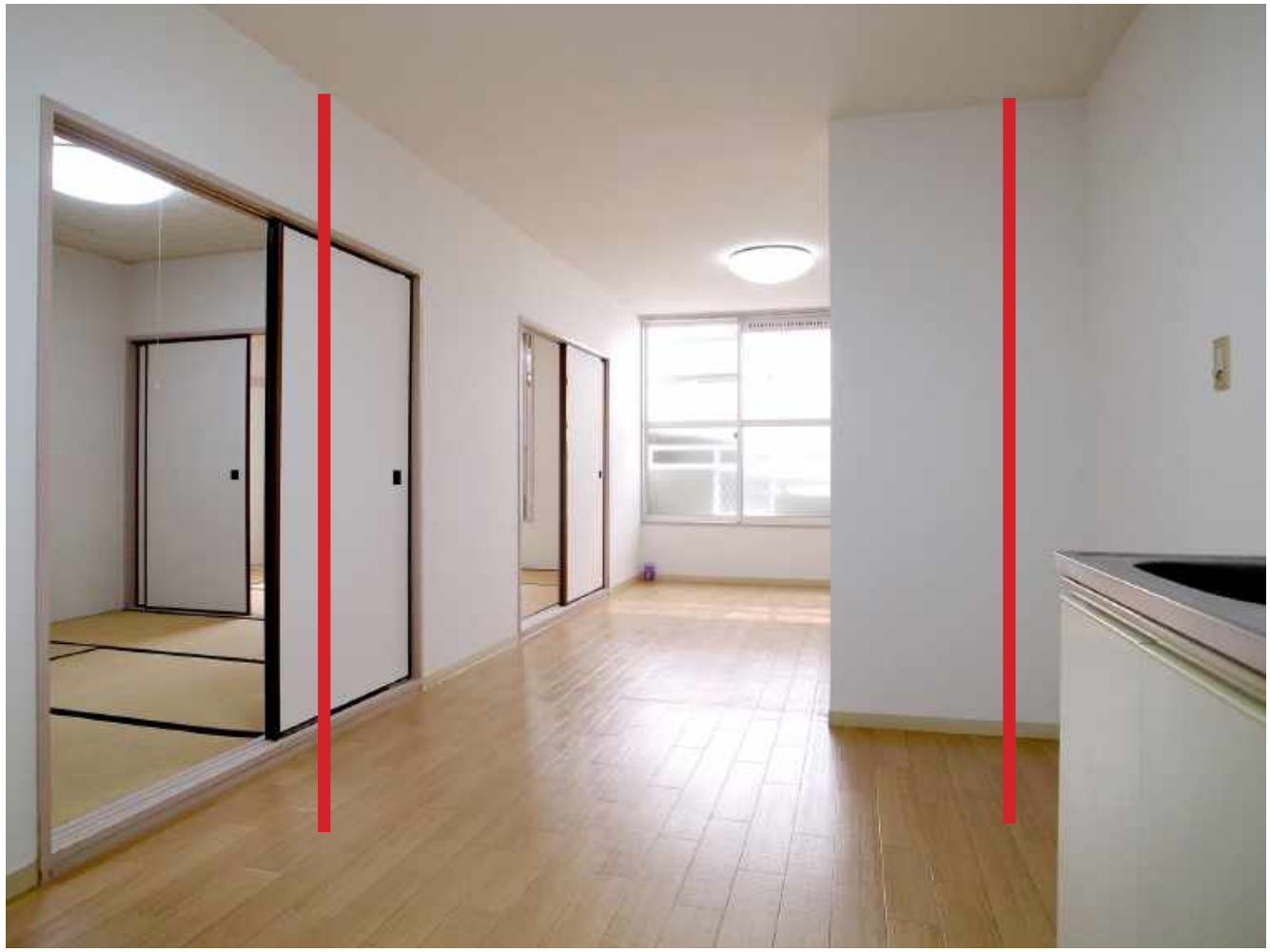
可能な限り壁際まで下がり撮影

（二）目線はまっすぐ撮るべし

アドバイス前

▼

（二）目線はまっすぐ撮るべし



アドバイス後

・カメラをまっすぐ構えたことでゆがみが減少し、柱や壁がまっすぐ写ります

★ Point ／水平・垂直に気を付けながら撮影します

カメラを下に向けて撮影

▶

カメラを水平に向けて撮影

▶

（二）目線はまっすぐ撮るべし【補足】

下向き：逆ハの字型

上向き：ハの字型

まっすぐ：Beautiful ！

カメラモニタにグリッドライン
を表示して、水平・垂直を確認
【スマホ】でも表示できます！

（三）視点を下げて撮るべし

アドバイス前

▼

（三）視点を下げて撮るべし

アドバイス後

・視点を下げたことで天井と床とのバランスが取れ、構図が安定しました

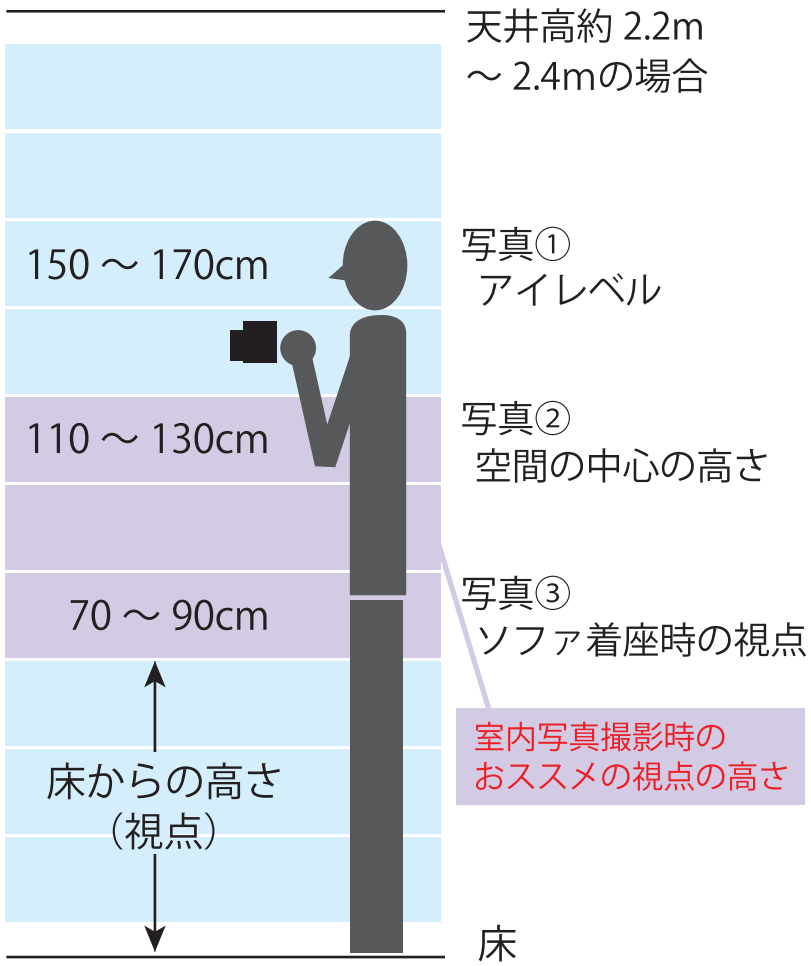
★ Point ／床から 70 ～ 130cm 前後で撮影

（三）視点を下げて撮るべし【補足】

←床から約１６０ｃｍで撮影。「アイレベル」で撮影すると天井が多くを占め、どこか窮屈な印象を受けます。

←床から約１２０ｃｍで撮影。空間の中心の高さで撮影すると天井と床が同じ割合となり構図が安定。

←床から約８０ｃｍで撮影。さらに床の面積が増え空間がより広く感じられます。



アイレベルでカメラを下に向けて撮影

▶

アイレベルでカメラを水平に向けて撮影

空間の中心の高さ撮影

（三）視点を下げて撮るべし【補足２】ローアングルの効果

←勾配天井のため、床から約 120cm の高さで撮影。

←床に寝そべり撮影した【ローアングル】。
　天井の高さがより強調された写真となります。が‥

（四）視線を通して撮るべし

アドバイス前

▼

（四）視線を通して撮るべし

アドバイス後

・廊下、キッチンへと視線を通すことで、写真に広がりが生まれ、情報量もアップ！

★ Point ／視線が通るだけで空間は広く感じられる　※（一）も参照

隣りの空間とのつながりや、窓の先に何があるのか、＋αの情報を加えて１枚の写真で表現する。

（五）何を伝えたいのか考えて撮るべし

アドバイス前

▼

（五）何を伝えたいのか考えて撮るべし

アドバイス後

・南面の窓を 2 つしっかりと入れ込んで、さらに洋室とのつながりを表現しています。

★ Point ／ 1 枚の写真で何を伝えたいのか再確認を！

▶

同じ場所を撮影しても、何を意図するか、伝えたいかを整理するだけで写真は大きく変わります。

基本の「き」のおさらい（1. 構図の問題の解決）

▶

ポイントはたったの５つ！

①できるだけ広く　②視線はまっすぐ　③視点を下げる

④視線を通す　⑤何を伝える？

そして１枚の写真の中に【いかに多くの情報を盛り込むか】を念頭に、
検索画面で目をとめてもらい、内見につなげるために、
シャッターを押します！

構図の補足 1. どこから撮ればよいの？

ズバリ！この８ヵ所です！
どのポイントから撮るのかわからないうちは、８か所からすべてお部屋を撮ってみると、コツがつかめてきます！

構図の補足２／縦位置と横位置

▼ ▼ ▼ ▼

・浴室、洗面、キッチンなど狭い空間や、上下に広がる空間は「縦位置」での撮影がおススメです！